



いとうの杜新聞

令和5年12月号

介護老人保健施設 いとうの杜
 短期入所生活介護 いとうの杜
 居宅介護支援事業所 いとうの杜
 通所リハビリテーション いとうの杜
 2023年12月15日 発行 第153号

年末を迎え

寒さが辛い季節になりました。お元気にお過ごしでしょうか。
 おかげ様でいとうの杜は令和5年11月1日に開設17年を迎えることができました。

利用者様・ご家族様・関係者の皆様には大変お世話になり心から感謝申し上げます。この日に入所フロアと通所フロアにご挨拶に回らせていただきました。皆さんから「開設記念おめでとう」「よかったですね」「お赤飯美味しかったです」とか「いつもありがとうございます」とお声をいただきました。ニコニコしたり、頭を下げてくださったりして利用者様のやさしい気持ちが私に伝わってきました。

建物も色々な場所の老朽化が進み、大規模改修工事始まりましたが給湯の修理では全フロアかけ流し温泉を引くことになり、すでに入浴された利用者様からは「気持ちよかった！」と喜んでいる声も聴かれました。

働きやすい環境づくりの一つとして、今年度施設方針であるICT化導入の準備が進んでおり、時間に余裕を持ち効率化を図ることで今まで以上に利用者様との関わりが持てること、寄り添うことが出来ることを期待しています。

私もいとうの杜に入社して8年。身体的にも弱いところも出てきており、スタッフの助けを借りながら役割を遂行しています。これからもスタッフ一同頑張りますのでよろしくお願いいたします。良いお年をお迎えください。

看護介護部部长 保坂 はつ



いよいよ年末です。クリスマス会も各フロアで計画しています。いとうの杜スタッフによる聖歌隊も訪れるはず。クリスマスが終われば大晦日、お正月がすぐやってきます。

4階の掲示物

毎月テーマを決めてフロアで制作しています。ぜひご覧ください。



4階利用者様とリハスタッフの共同制作（秋の実り）
 作業時間：水、木、金の午後3時より4～6人参加
 方法：かぎ編み、切り絵、貼り絵、折り紙
 担当：葉っぱ担当、つた担当、木担当、動物担当、果物担当
 注目点：つたはかぎ棒で鎖編みをした後に三つ編みで綺麗にまとめました。柿は折り紙、ブドウはお花紙を丸めて協力して作り上げました。地面の草はクレヨンを使って表現しました。

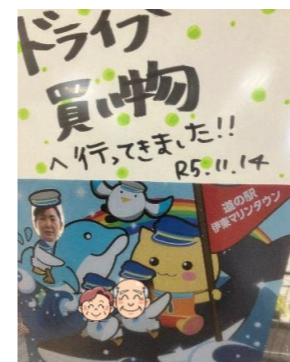
6階での焼き芋会



皆さん「甘くておいしかったあ」とのこと。いつもは、「おやつは結構です」と言われる方もこの日は食べていただき、おいしいと言ってくれました。焼き芋レクリエーション大成功です。

安納芋の焼き芋にアイスクリームをトッピング
 あったかホクホクお芋に冷たい感触。絶妙です！！

マリンタウンにレッツゴー！



コロナウイルス感染症もひと段落がついたので、暫く外出することもなかった利用者様と、気分転換にマリンタウンへ行ってきました。「やっぱり外は気持ちがいね〜」「風が少し冷たいね〜」「今日は海が青いね〜」等々終始会話が途切れることなく弾みっぱなし。マリンタウンのお店の中に入ると、利用者様は大勢の人々に目をキョロキョロ。スタッフはおみやげ品に目をキョロキョロさせながら、今日のおやつを購入。

最後に外で記念写真をパチリッ。
 帰りの車中でも笑い声や会話が途絶えることはありませんでした。楽しい外出でした。 ショートステイ 樋口貴子

フレイクタイム (俳句・短歌・川柳)

あなたも一句思いついたら
 投稿してみませんか

秋深く 富士白くして 空に立つ 北村 文子

朝寒や 背筋のばした 紫羅蘭花 (あらせいと) 事務課職員

12月のレクリエーション と行事予定

- デイ 誕生日会 12/2 (土) 12/4 (月) 12/15 (金)
 おいしい焼き芋を食べよう！ 12/6 (水)
 Xmas会 12/21 (火)
- 2階 おいしい焼き芋を食べよう！ 12/6 (水)
 Xmas会 12/16 (土)
- 3階 おいしい焼き芋を食べながらのXmas会 12/18 (月)
- 4階 Xmas会de駄菓子バイキング 12/20 (水)
- 5階 駄菓子バイキング 12/1 (金)
 パーラー杜 (ホットチョコレート) 12/7 (木)
 Xmas会 12/23 (土)
- 6階 駄菓子バイキング 12/19 (火)
 Xmas会 12/26 (火)

聖なる夜..

Santa Clausが聖歌隊を引き連れ
 いとうの杜にやってくる
 そうそうトナカイもいっしょに
 ~きよしこの夜~

メリークリスマス！ by Santa Claus

移動美容室「クランチケア」さんがいとうの杜に来ます。
 12月 7日(木)
 12月19日(火)午後のみ営業
 12月25日(月)

ご希望の方は各フロアスタッフまで！！

一年間皆様と一緒に楽しい紙面づくりをしてまいりました。
 来年もよろしくお願いいたします。

〒414-0002 伊東市湯川 288番地9

ホームページ

「いとうの杜新聞」編集部まで

<https://www.itou-mori.jp/>

電話 0557-35-4165 FAX 0557-35-4101





皆様お待ちかねのお寿司バイキング
好きな寿司ネタをお選びください

お味はいかがでしたか？

うまかったよ

ここにきてよかった

もう一回おかわり！

〇〇さんもう

これくらいにしま

しょうよ

レモンの香りが良く
絞ってかけたらおい
しかった

寿司バイキング



ワタシの耳エビさんのしっぽみたい！



ソフト食用お寿司



私サーモンは苦手なの
その他はなんでも
だいじょうぶよ



年に1度の寿司バイキング 皆さん何度もおかわりされ大満足の様子でした
次回は3月頃の予定です

ここの茶碗蒸しおいし
いわね

最近お食事をお部屋で食べて
いる方も食堂で皆さんと一緒に
食べていました



ブーさんサンタも嬉しそう



杜寿司社長(?)とスタッフ

一つ残念なことに感染症対策のため
バイキングできないフロアもありま
したが、お膳にお寿司を盛り付け、
お刺身もつけてお出しました。



まるで盆と正月が一緒に来たみたいと言葉をいただきました

~川奈の祭典に参加して~

川奈の三島神社例大祭が、5年ぶりに開催されました。最初の年は台風が来て社殿が破損してしまい、祭典ができる状態ではなく、翌年



からは新型コロナウイルスの大流行。まさか4年も祭りができなくなるとは誰も思っていませんでした。そして今年、5年ぶりに開催された祭りは若干の風はあったものの、晴天に恵まれ盛大に行うことができました。神社の「氏子」を含めた行列が先頭を歩き、その後に神輿が続きさらにその後を各町内(計3町内)の「万灯(まんどう)」「山車」が続きます。この行列はちょっとした見ものだと思います。私自身も以前は万灯をやっていましたが、腰を悪くしてしまい、この数年は祭りから遠ざかっていました。ですが今年は神社の「氏子」を受け、久しぶりに参加することができました。万灯は遠くから見るしかない寂しさはありましたが、とても気持ちよく祭りをを行う事ができました。最初は氏子を受けることにためらいがありましたが、今では受けて良かったと思います。川奈にも「人手不足」「子供がいない」等の課題があり、いつまで今のまま祭りが続けられるかわかりませんが、これからできる限り盛り上げていきたいと思っています。

通所 介護職員 山田

~父の思い出~

12月になると父の事を思い出します。

なぜならば、12月15日が父の命日だからです。父は10年前胆管癌の為82歳で亡くなりました。父は昭和6年、現和田(旧玖須美井戸川町)で5人兄弟の2番目長男として誕生しました。祖父が道楽好きで、中学校を卒業すると働きながら旧伊東高校の定時制に通っていました。文学好きで、俳句(選者)、短歌、詩、川柳等をたしなみ、伊東市の芸術祭で毎年賞を載っていました。

祖母は熱心なクリスチャンで、幼少の頃から教会の通い、洗礼を受けたと聞いています。私や姉も子供の頃、日曜日になると父と一緒に教会へ通っていました。みんなの前で大きな声で讃美歌を歌う父が恥ずかしくて、私は協会へ行くのが嫌でした。でも協会にいる時の父はいつも生き生きとしていました。私の結婚式は父の願いで教会で式を挙げました。バージンロードを歩く時緊張して、なかなか前に進むことができなかった父を覚えています。

父が亡くなった日は日曜日でした。大河ドラマで「八重の桜」(新島八重、新島譲同志社大学創立者であり、キリスト教の教育者の妻)最終回の日でした。ドラマを見終りししばらくすると、母から父が亡くなったとの連絡があり、病院に駆けつけました。父を病院から自宅へ搬送する時ふと空を見上げると満点の星が輝き、とても綺麗でした。

今年私の長女が結婚しました。結婚式場のチャペルで式を挙げ、私の結婚式と同様に父の好きだった讃美歌の「いつくしみ深き」を歌いました。夫にエスコートされバージンロードを歩いていく娘の姿を見て「もうあれから30年経ったんだなあ」と懐かしくも微笑ましく思い、きっと父や母も孫の晴れ姿を天国から見守ってくれているような気がしました。

5階ショートステイ 介護職員 中澤

~箱根散歩~

11月初旬、娘夫婦、孫と一緒に箱根に遊びに行ってきました。孫たちはまだ小さいので、多くの場所には行けず、のんびりゆったりと旅してきました。久しぶりに会った孫にじいじばあばはメロ

メロ。娘夫婦の思惑通りいろいろ買ってあげちゃいました。(たまにはいいか)今回行った「箱根ガラスの森美術館」を紹介します。ここは日本初のヴェネチアングラス等の専門の美術館であり、庭園も遙か昔の異国情緒を再現しており、その多くはガラスでできています。



庭園の端の方にあった大王松から作るお守りが印象的でした。三本の松葉を結って作るお守りは身に付けておくと幸福が叶うと言われていました。右写真がそれです。5歳の孫が作ってくれました。

今回の箱根散歩はお天気も良く、富士山は11月

なのになぜか雪がわずかしくなく、まるで夏富士のようでした。



伊豆の散歩人

